

鉄鋼業界で働く

Work

—女性開発職編— インタビュー(上)

金属リサイクル業界で活躍する女性が増える中、総合リサイクルの平林金属(本社＝岡山市、平林実社長)では技術開発部で2人の女性社員が資源循環社会の実現を目指し、リサイクル技術の向上に取り組んでいる。花房美奈美さん、中村絢夏さんに話を聞いた。



花房さん

「なげりサイクル業の仕事をしたというのラキンで、えこ便(店舗)があつて、専門学校でも型の資源回収事業を担がって、専門学校でも型の資源回収事業を担がって、環境系化学の勉強をしたり、生

環境系の仕事に興味

態系の調査をしたり、環境系について学んでいました。就職活動中に唯一見つけたリサイクル関連の企業がヒ

中村「私は、リサイクルという職業に正直興味はありませんでした(笑)。ずっとソフトボールをやっていました。中村「私は、リサイクルという職業に正直興味はありませんでした(笑)。ずっとソフトボールをやっていました。」

中村「6年ほど現場を担当しており、時々、技術開発部の方が現場に来られ、さまざまなテストを実施していました。実際に手伝いをしていて、面白く感じています。女性同士でないと、面白く感じないと思います。女性同士でないと、面白く感じないと思います。」

花房「やっぱり、安心感があります。女性同士でないと、面白く感じないと思います。女性同士でないと、面白く感じないと思います。」



中村さん

中村「女子選手の多くは、私と同じような思いで入社・入部しています。女子チームができてから、女性の働きやすい環境づくりに取り組むのが始まり、家電リサイクル部門を中心に女性社員が増えました。私も以前は、家電リサイクルの工場勤務していました。」

花房「私は入社時から技術開発部でしたが、他に女性がいなかったの

中村「社内での設備導入の機器選定や事前テストなどを行うほか、稼働後の品質管理や設備改善といったことをやっています。さらに自社での成果を踏まえ、社外に向けて技術提案していくという仕事もあります。グループ会社のヒラキンテックと連携して、リサイクルプラントの設計やノウハウの指導などを行っています。」

部活動が入社の動機

中村「6年ほど現場を担当しており、時々、技術開発部の方が現場に来られ、さまざまなテストを実施していました。実際に手伝いをしていて、面白く感じています。女性同士でないと、面白く感じないと思います。女性同士でないと、面白く感じないと思います。」